

孤立出産した技能実習生グエットさんの無罪判決を求める署名
孤立出産した女性に社会的保護を！！

【事実関係】 ベトナム人技能実習生のグエットさんは来日前から「妊娠したら帰国」と繰り返し言われていたため、2023 年 12 月に妊娠に気づいた後も誰にも相談できずにいました。2024 年 2 月 2 日、知人宅で一人突然の出産を迎えましたが、残念ながら死産でした。大量出血とそれに伴う酸欠状態等で何度も失神しながら、赤ちゃんの遺体をようやく見つけたビニール袋に入れ、しゃがみ込んでいたすぐ側にあったごみ箱の中に一時的に置きました。そして死産から約 8 時間後、帰宅した知人に病院へ連れて行かれ、診察時に警察へ通報され、死体遺棄罪で起訴されました。彼女は一貫して無罪を主張してきましたが、2025 年 3 月 7 日、福岡地方裁判所は不当にも有罪判決(懲役 1 年 6 月執行猶予 3 年)を言い渡しました。そして、2025 年 11 月 4 日、福岡高等裁判所は 1 審の有罪判決を支持し、控訴を棄却しました。

【私たちの考え】 グエットさんの孤立出産の背景には、多くの実習生が妊娠を理由に強制帰国させられている現実があります。多額の借金を残し帰国させられることが怖くて誰にも相談できず、言葉の壁もあり支援に繋がれずに孤立出産へと追い込まれたのです。またグエットさんの行動は、死産直後の身体的精神的に極限状態の中で何が適切な対応かも分からずにとったものです。従って、死産後 8 時間という短期間ビニールの袋に入れた遺体をごみ箱の中に置いていたことをもって「死体遺棄罪」として有罪とすることは極めて不当です。

この問題は女性の労働権及びリプロダクティブ・ライツ（性と生殖に関する権利）を奪うだけでなく、リプロダクティブ・ジャスティス（性と生殖・再生産を巡る社会正義）にも反し、妊娠や出産の責任を女性一人に背負わせる日本社会のジェンダー不平等の現れです。グエットさん一人を犯罪者として罰することで、この問題を終わらせるべきではありません。孤立死産した女性に必要なのは、刑事罰ではなく社会福祉的な支援と保護です。私たちは、グエットさんは無罪であると考え、控訴審判決を破棄した上で無罪判決が言い渡されることを求めます。

氏 名	住 所
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県

署名集約先 ベトナム人技能実習生グエットさんの裁判を支援する会

〒812-0017 福岡市博多区美野島 2-5-31 美野島司牧センター 気付

電話 090-7450-9805 井上 FAX 092-821-7292 E メール inoueym21@yahoo.co.jp

呼びかけ団体

- ☐ アジアに生きる会・ふくおか
- ☐ コムスタカ-外国人と共に生きる会
- ☐ 外国人技能実習生権利ネット・北九州
- ☐ 美野島司牧センター
- ☐ NPO 法人熊本 YWCA
- ☐ 日本キリスト教婦人矯風会・熊本グループ
- ☐ 日本ベトナム友好協会福岡支部
- ☐ ゼネラルユニオン
- ☐ 平和を求め軍拡を許さない女たちの会・熊本
- ☐ 公益社団法人福岡県人権研究所外国人部会
- ☐ 移住者と共に生きる・ネットワーク九州

オンラインでも
署名ができます



～グエットさん裁判支援のための寄付のお願い～

グエットさんの支援のため、弁護士費用や支援活動のための費用が必要となります。

是非ご賛同いただき下記の口座への寄付をお願いします。

郵便振替 外国人技能実習生権利ネット・北九州 01750-8-84519

クレジットでの寄付はこちら→

